

と い さね ひら ぞう 土肥実平像



● れきし 歴史

と い さね ひら みなもとのよりとも やく ねんまえ かまくら ちゅうしん おお ちから も
土肥実平は源頼朝（約800年前に鎌倉を中心に大きな力を持った

ひと かまくらじだい きず おお やくわり は かつやく ちいき こうぞく
人！）が鎌倉時代を築くのに大きな役割を果たし、活躍した地域の豪族（そ

ちいき おお ちから も ひと
の地域で大きな力を持っていた人）です！

げんざい ゆがわらまち まなづるまち かつやく ほ ゆがわらまち じょうがんじ やく
現在の湯河原町・真鶴町を活躍の場としていて、湯河原町の城願寺から約

のほ やま しろう きず どうじ ゆがわら ちから も
2km登った山にお城を築いていました！（当時、湯河原でとても力を持っ

ひと
ていた人なんだね！）

やく ねんまえ みなもとのよりとも いしほしやま かせん むかし にほん せんぞう ま
いまから約850年前、源頼朝が石橋山の合戦（昔の日本の戦争）に負

と い さね ひら みちび すうにん けらい ゆがわら
けてしまったとき、土肥実平に導かれて、数人の家来と湯河原のしとどの

いわや
窟にかくれ、なんとか生き延びることができました。

さらに頼朝は真鶴のしとどの窟などに隠れながら、船で現在の三浦半島

(小田原とは神奈川県かながわけんの反対側はんたいがわの場所ばしょです!) を経由して千葉県へと逃げ、

その後、鎌倉を拠点として活躍しました。

実平は頼朝と共に戦いに参加し、厚い信頼を得ました。そして、1184

年、現在の岡山県の責任者を任せられ、さらに西側(関西方面)の責任者を

任せられました。

また、写真からもわかるように実平の妻はとても実平に尽くし、頼朝が

湯河原のしとどの窟いわや かくに隠れている時には食べ物た もの はこを運んだり、実平を妻とし

て精いっぱい支えました。

当時、鎌倉時代がどのような時代で、土肥実平がどのように活躍していたか

調べてみても良いかもしれません! 多くのことを知っていくことで、この

地域がどのように出来てきたか理解できるかもしれません!

上にも少し書きましたが、チェックポイントにもあった「しとどの窟」と

の関係性を調べてみると面白いかもしれませんね!

● 地域や、地域の人とのかかわり

土肥実平は地域のヒーローとして語り継がれていて、湯河原町には「土肥会」

という実平の歴史を多くの人へ伝えて、研究する会もあります!

また、合戦の相手に実平の城が焼かれた時に「大丈夫」と頼朝を勇気づける

ために踊られた「焼亡の舞」は今もなお、踊り伝えられています。

毎年4月には石橋山の合戦に向かう武者行列が再現されています。

● **かんれん 関連するチェックポイント**

・しとどの産^{いぬや} …土肥実平^{どいさねひら}が敵^{てき}から隠^{かく}れていた場所^{ぼしよ}です。

・小梅堂^{こうめどう}(きびもち) …しとどの産^{いぬや}で土肥実平^{どいさねひら}が隠^{かく}れていた時^{とき}に食^たべていたお

菓子^{かし}です。